


『明日へ』 寸評

- ・パイプオルガンの感じが出ていておもしろい
- ・ m.1-2を主題だけで提示しm.3から厚い和声を与えている
m.9から線的になりm.12は内声が動きを取る よく工夫されている
- ・ m.13は足鍵盤を抜いて上声から2拍ごとに重なっていくようにすると非常に効果が高い
- ・ m.14 b.3表拍がほしい
- ・ m16は全声部とも全音符にしよう
- ・ 発想標語 **Grandioso** とする 語頭は大文字で
- ・ オルガンは音量の変化がディナーミクでは付けられないので指示しなくてよい
- ・ 音量とも関係のある音色（ストップまたはレジスター）の選択は一般的に奏者と楽器に任されている
- ・ m.14の記譜 
- ・ m.1と2のあいだに休止を置いたのはなぜ？
- ・ 明日へも歩みを進める強固な意思が表現できている
- ・ m.8 b.1足鍵盤は主音の方が段落感が強まる

m.=measure 小節番号のことです。
b.=beat 拍のことです。

健闘作!

持魔 勉